
日本経済展望

2020年4月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<https://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

- ◆現状 p. 1
- ◆景気分析 p. 3
- ◆トピック p. 8
- ◆見通し p. 9
- ◆内外市場データ p. 11

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	村瀬 拓人	（ Tel: 03-6833-6096 Mail: murase.takuto@jri.co.jp ）
現状分析・外需・金融	北辻 宗幹	
企業部門	成瀬 道紀	
家計部門	室元 翔太	

経済・政策情報メール
マガジン配信中！



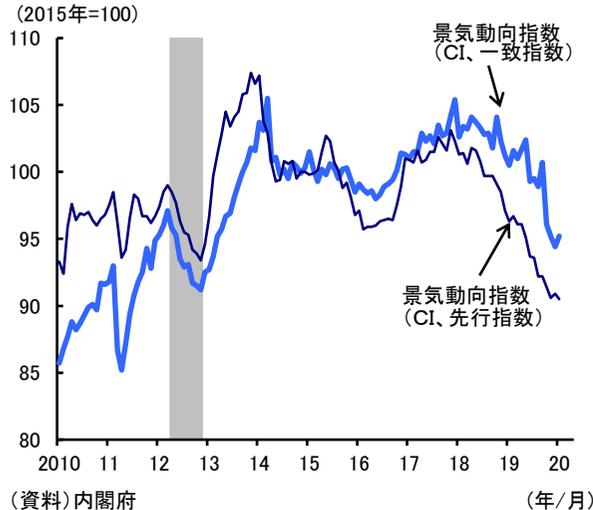
- ◆本資料は2019年4月2日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。
- ◆日本総研・調査部の「経済・政策情報メールマガジン」は下記urlから登録できます（右側QRコードからもアクセスできます）。
新着レポートの概要のほか、最新の経済指標・イベントなどに対するコメントや研究員のコラムなどを随時お届け致します。
<https://www.jri.co.jp/company/business/research/mailmagazine/form/>

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

概況：景気は下振れ、新型コロナの影響は当面続く

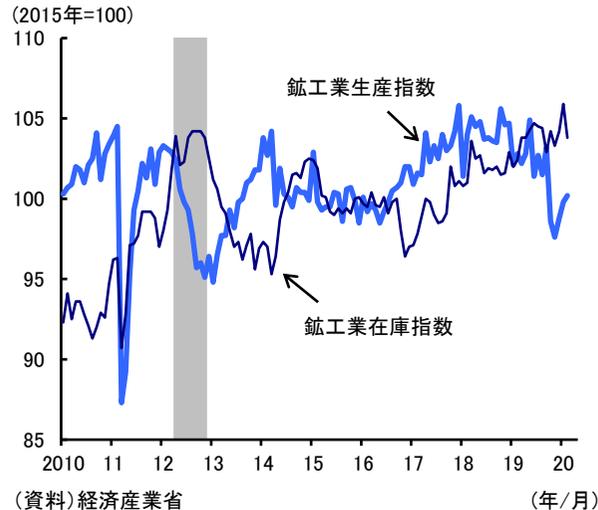
景気

景気動向指数は、一致指数、先行指数ともに低下傾向



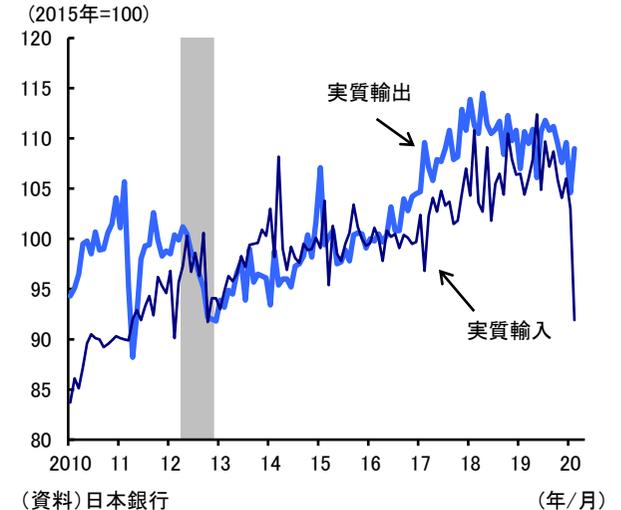
企業

鉱工業生産指数は、電子部品・デバイス工業の大幅な増産により、3ヵ月連続の上昇



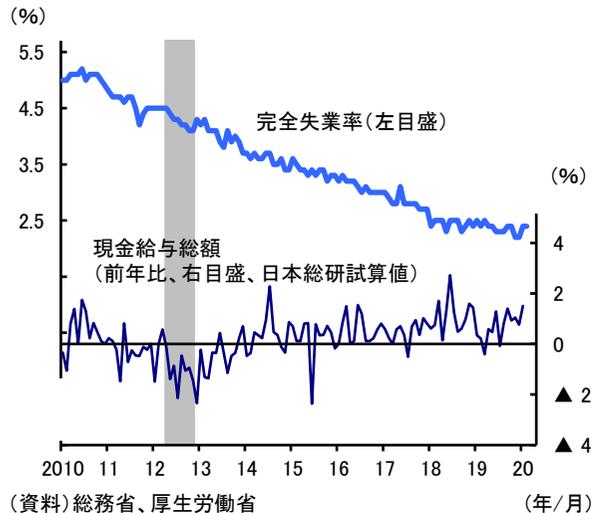
外需

輸出は振れを伴いながら弱い動き
輸入は中国からの消費財などが大幅減



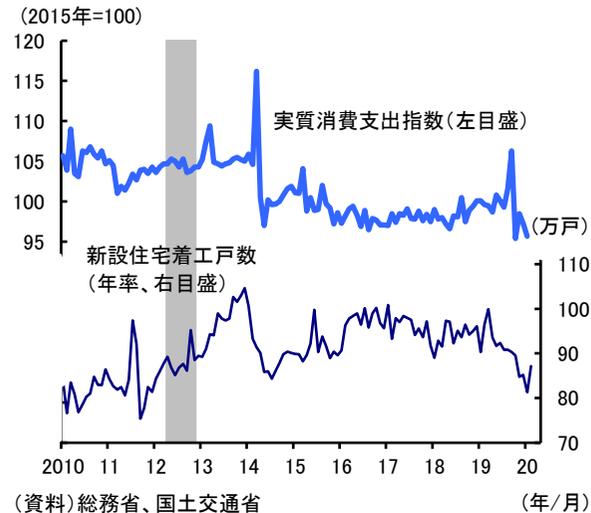
雇用所得

失業率は1993年以來の低水準圏
名目賃金は振れを伴いつつ増加基調



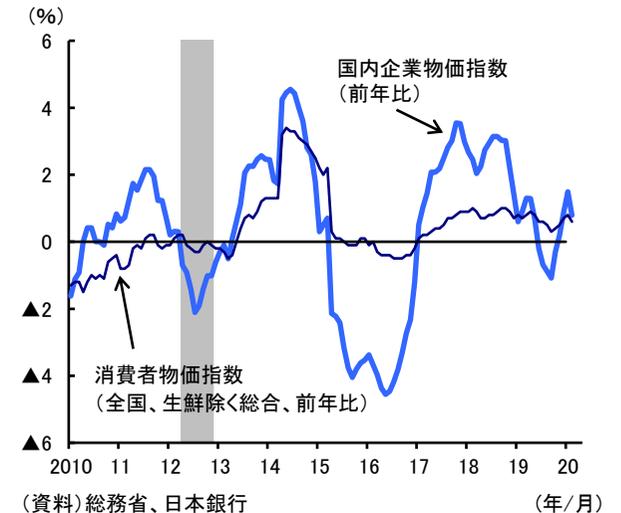
家計

実質消費は消費増税後に水準低下
住宅着工は弱含み



物価

企業物価は石油製品を中心に下落
消費者物価はプラス基調が持続



※シャドー部は景気後退期

内外需ともに大きく下振れ

◆業況判断DIは大きく低下

3月調査の日銀短観・業況判断DIは、大企業・製造業が▲8%ポイントと5四半期連続で低下。国際商品市況の悪化や外需の低迷で、素材、加工業種ともに悪化。

大企業・非製造業も3四半期連続で低下し、+8%ポイントと、2013年3月調査以来の低水準。インバウンド消費の急減や外出の自粛により、宿泊・飲食サービス、対個人サービスなどが大幅に悪化。

先行きの業況判断DIは、全規模・全産業で、▲18%ポイントと、現状(▲4%ポイント)からさらに大幅に悪化すると予想。

◆鉱工業生産は増加

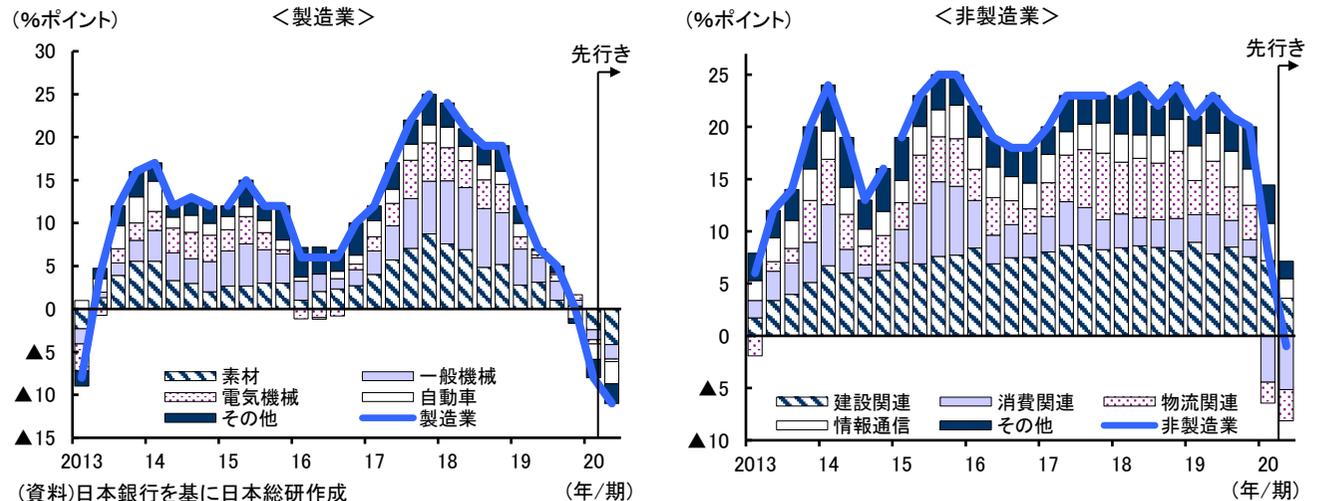
2月の鉱工業生産指数は、小幅ながら前月比+0.4%と3ヵ月連続の上昇。世界的な半導体需要の持ち直しにより電子部品・デバイスが増産。

先行きの生産計画は、3月が同▲5.3%の減産となる一方、4月は同+7.5%の増産を予想。もともと、今回の調査では、新型コロナの感染拡大の影響が十分に織り込まれていないため、計画からの大幅な下振れが避けられず。

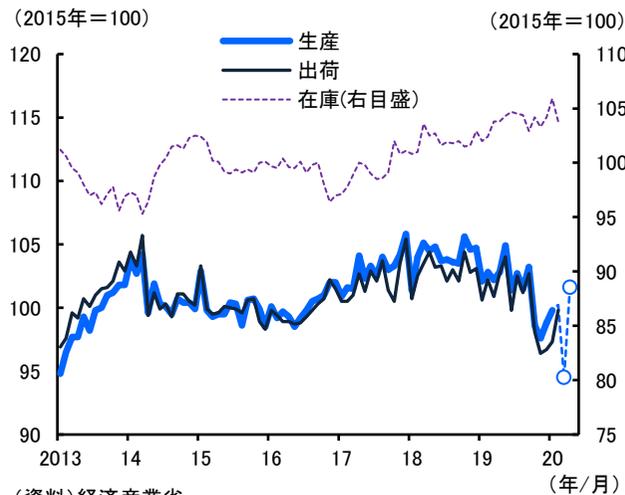
◆中国からの輸入が減少

実質輸出は、世界景気が全般的に勢いを欠くなか、低迷が持続。一方、実質輸入は大幅に減少。新型コロナの流行を受けた、中国国内の生産活動の下振れを背景に、同国からの輸入が大幅に減少。

日銀短観業況判断DI(大企業)



鉱工業指数(季調値)



(資料)経済産業省
(注)生産指数の白抜き(3月、4月)は、製造工業予測指数を基に先延ばし。

実質輸出入(季調値)



(資料)日本銀行
(注)後方3ヵ月移動平均。

新型コロナの世界的な流行で、2020年度は大幅なマイナス成長

◆新型コロナの影響で大幅なマイナス成長

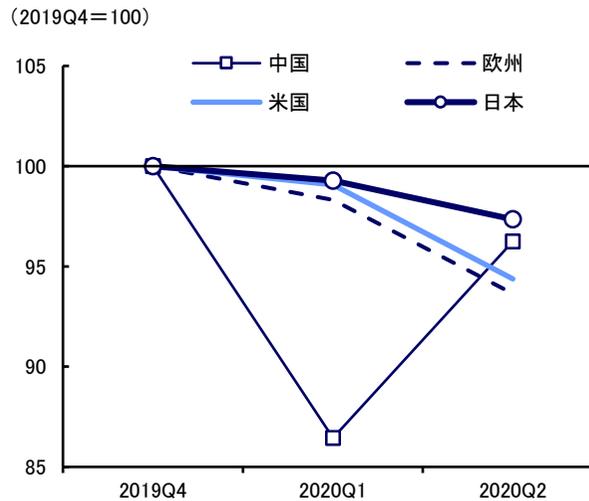
新型コロナの世界的な流行拡大を受け、経済見通しを大幅に下方修正。わが国では、これまでのところ、感染者数の爆発的な拡大には至らず、厳しい外出規制を実施している他の主要国に比べ経済活動の落ち込みは小さいとみられるものの、1～3月期、4～6月期は、ともにマイナス成長が避けられず。

景気が回復に転じるには、新型コロナの流行収束が必要。国内での感染拡大が落ち着き、外出の自粛が和らげば、個人消費は一定程度持ち直しへ。ただし、インバウンド需要や貿易活動を中心に、経済が元の水準に戻るには時間を要するため、V字型の力強い景気回復は期待できず。5月頃の流行収束を想定しても、2020年度の成長率は▲1%を上回る大幅なマイナス成長に。

◆景気悪化のスパイラルを防ぐ政策対応を

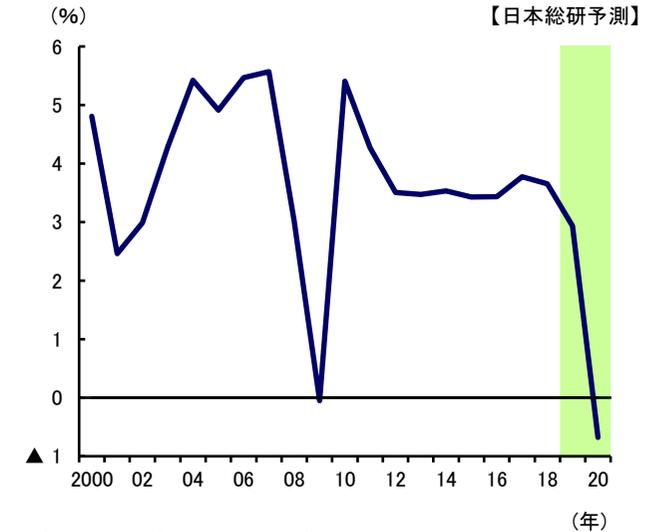
こうしたなか、政府は、新型コロナに関する緊急対応策を相次ぎ策定。さらに、4月中には、リーマン・ショック時に匹敵する事業規模の経済対策を策定する予定。もっとも、経済対策のなかで検討されている消費刺激策が効果を上げるには、感染拡大の収束が不可欠。感染拡大の防止や医療体制の整備に加え、企業の資金繰り支援や一時休職者への所得補償といった、景気のスパイラル的な悪化の回避に有効な施策を十分に拡充することが必要。

2020年入り後のGDPの下振れ(日本総研予測)



(資料)各国統計を基に日本総研作成

世界経済の成長率



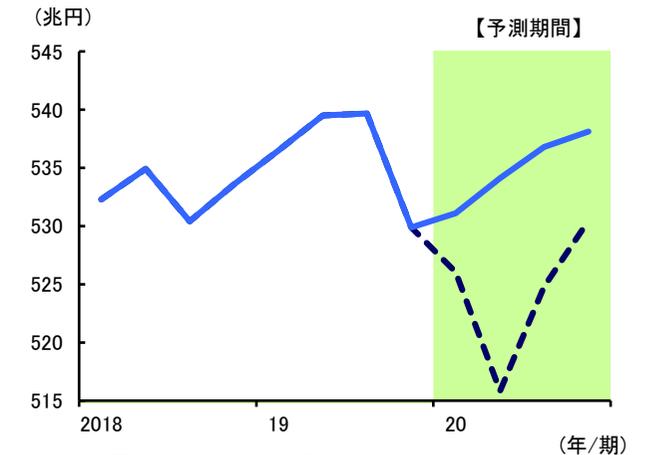
(資料)IMFを基に日本総研作成

新型コロナに関する緊急対応策

第1弾(2月13日)	財政措置	金融措置
	153億円	5,000億円
<ul style="list-style-type: none"> ・帰国者受入支援、国内感染対策・水際対策強化 ・中小、小規模事業者の資金繰り支援 		
第2弾(3月10日)	財政措置	金融措置
	4,308億円	1.6兆円
<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止、医療提供体制の整備 ・保護者の休職時の所得補填 ・所得減少世帯への貸付要件緩和 ・雇用調整助成金の要件緩和、助成率の引き上げ ・資金繰り支援やサプライチェーン再編支援 		

(資料)内閣官房を基に日本総研作成

実質GDPの見通し(季調値)



(資料)内閣府を基に日本総研作成

(注)新型コロナの影響による実質GDPの下振れのイメージをつかむため、12月時点の見通しは、2019年10～12月期までの実績値を、2020年1～3月期以降の成長率見通し(12月時点)で延長。

輸出は、財・サービスともに下振れが不可避

◆財輸出は低調に推移

財輸出は、低迷が持続。自動車の生産移管の影響が一巡したことで、米国向けは下げ止まったものの、新型コロナの流行を受けた生産活動の下振れを背景に、中国向けの中間財、資本財が大幅に減少。

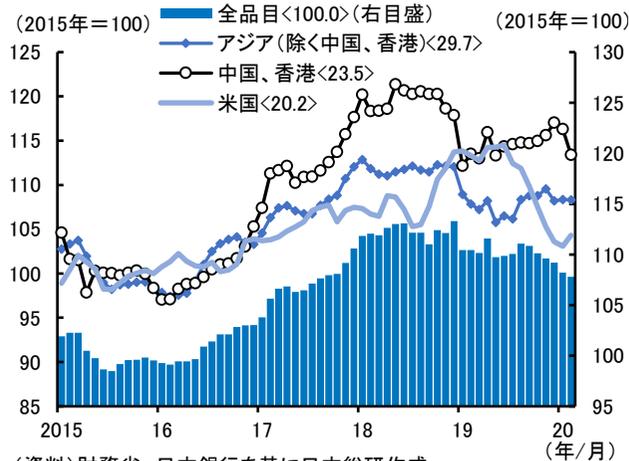
先行きは、新型コロナの影響による世界的な経済活動の停滞から、輸出は大幅に減少する見込み。ちなみに、日銀短観・海外での製商品需給の先行き判断DIは、小幅悪化にとどまったものの、調査期間の関係で新型コロナの影響が十分に織り込まれていない可能性大。

◆インバウンドは大きく下振れ

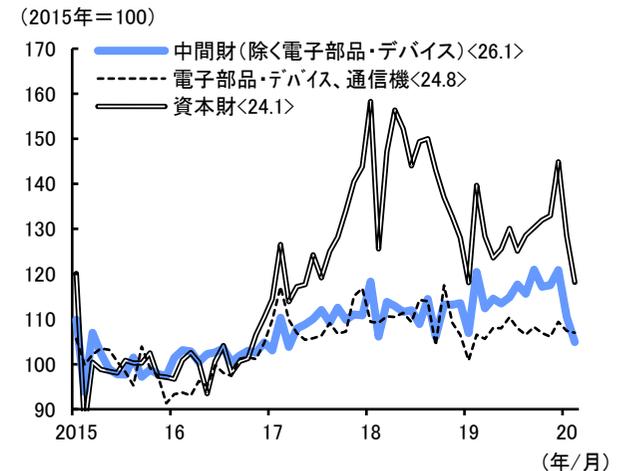
2月の訪日外客数は、前月比▲56.0%の大幅減少。新型コロナの流行を受け、中国政府が国外への団体旅行を禁止したことなどから、中国からの訪日客が同▲90.8%減少と急減したほか、その他地域からの観光客も減少。訪日外客数と一人当たり消費額を基に試算すると、2月のインバウンド消費は、▲2,261億円の減少。

3月には、わが国政府が、ビザの効力停止の対象国拡大など入国規制を強化したほか、他の国でも渡航の自粛要請により、海外旅行を控える動きが広がっていることから、インバウンド消費は一段と落ち込む見込み。

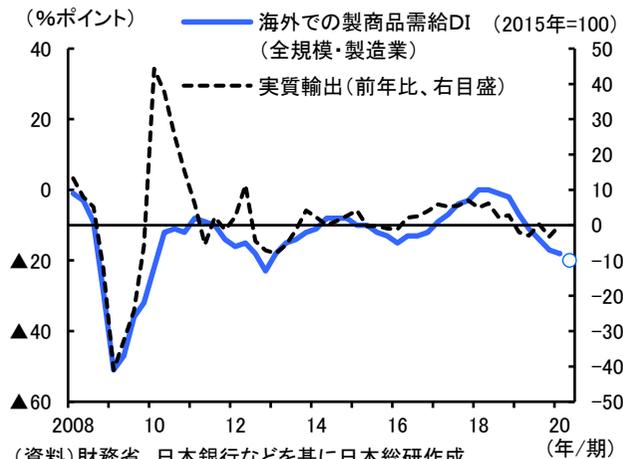
地域別の実質輸出(季調値)



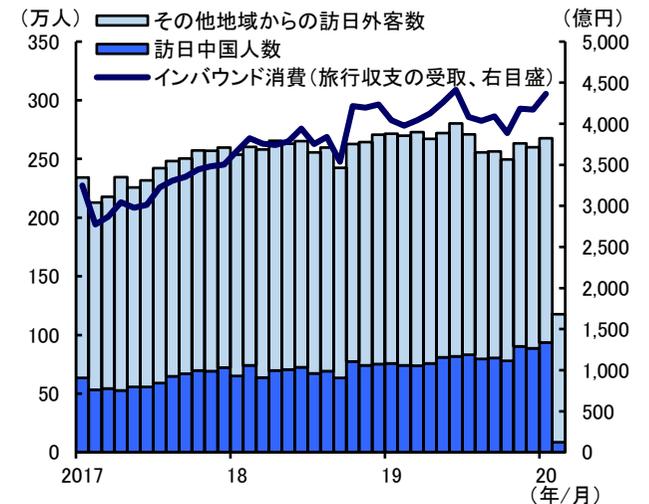
中国、香港向け品目別実質輸出(季調値)



海外での製商品需給DIと実質輸出



訪日外客数とインバウンド消費(季調値)



企業収益の悪化とともに設備投資は慎重化

◆企業収益は悪化

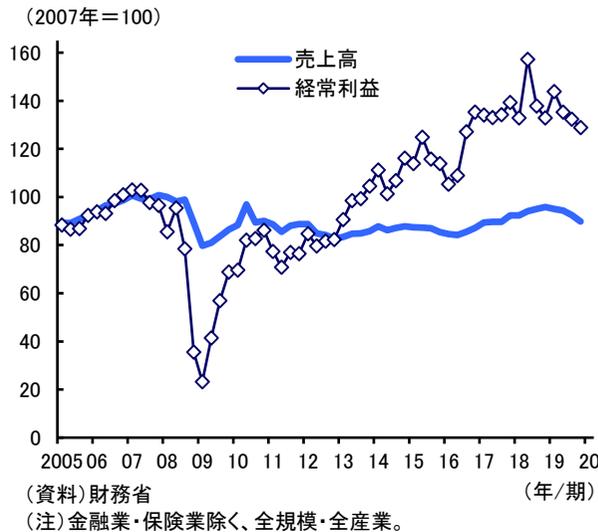
企業収益は、新型コロナの感染拡大に伴うインバウンド需要の消失や国内での外出自粛を受けて、大幅な悪化が避けられず。とりわけ、インバウンドへの依存が大きいような、国内需要の下振れの影響も受けやすい宿泊・飲食業などでは、売上の大幅な減少で、赤字企業が続出する懸念。さらに、世界的な感染拡大で海外経済が急速に収縮するなか、自動車・機械・電機など輸出企業を中心に製造業にも業績の悪化が広がる見通し。

今後、懸念されるのは企業の資金繰りの急速な悪化。リーマン・ショック時には、3～4ヵ月で中小企業の資金繰りが大幅に悪化しており、夏頃まで売上の大幅な下振れが長期化した場合、企業倒産が急増するおそれもある。

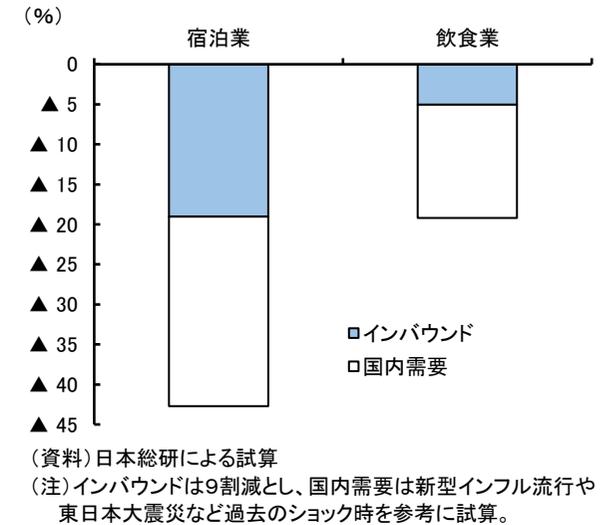
◆設備投資は減少

設備投資も、新型コロナの影響で下振れが不可避。日銀短観の3月調査では、2020年度の設備投資計画は、例年並みの出だしとなったものの、調査の回収基準日が3月11日であったことを踏まえれば、新型コロナによる経営環境の悪化を十分に織り込んでいない可能性大。そのため、6月調査では、例年と比べて弱い足取りとなる見込み。

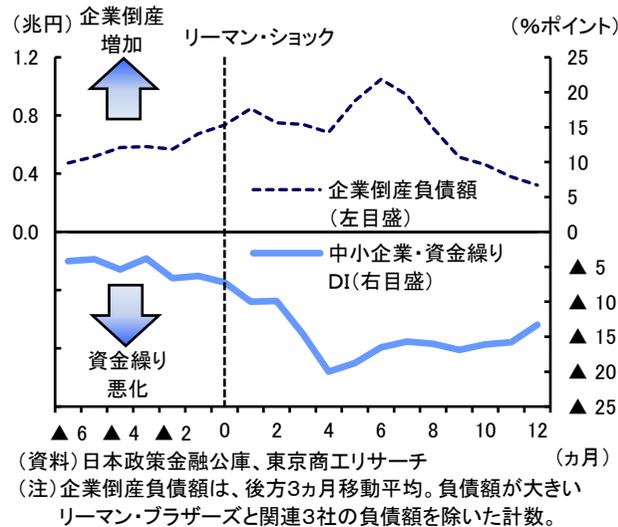
法人企業の売上高と経常利益(季調値)



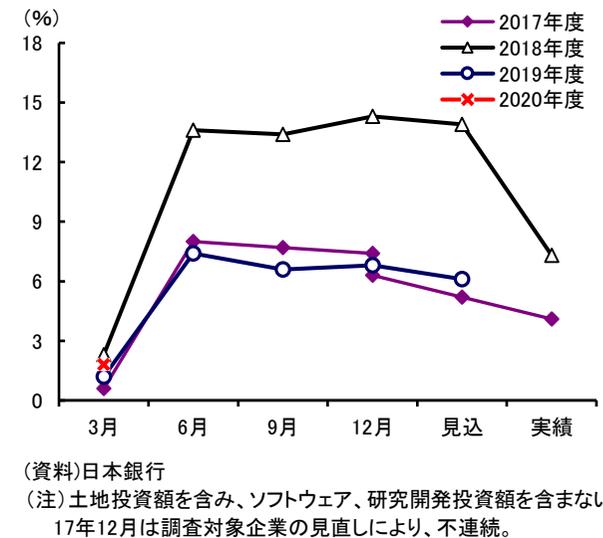
宿泊・飲食業の減収率試算値(3月前年比)



中小企業の資金繰りと企業倒産



設備投資計画(大企業・全産業、前年度比)



新型コロナの流行が長期化すれば深刻な雇用調整に

◆ 足許の所得環境は改善が持続

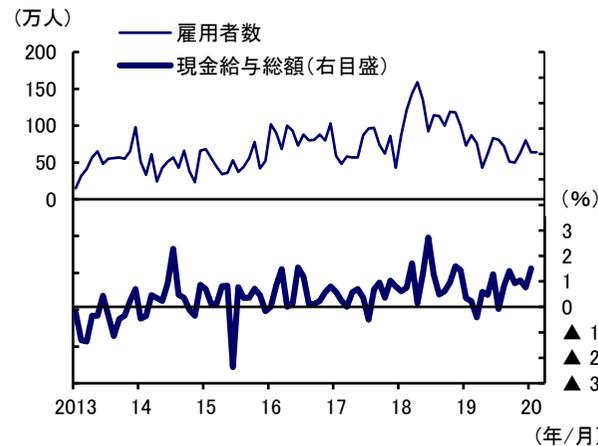
足許では、雇用者数の増加ペースは2018年をピークに鈍化しているものの、依然として前年差+60万人前後の増加基調を維持。一方、賃金面でも、名目賃金の上昇傾向が持続。2020年1月の現金給与総額は、所定内給与のプラスを主因に前年比+1.5%の増加。

もっとも、先行きは新型コロナの影響で、所得の下振れが避けられず。商業施設の休業や時短営業が広がるなか、パートタイマーの所得が一時的に大きく落ち込む公算大。正社員も、残業時間の減少を受けて、所定外給与が下振れ。さらに、企業業績の悪化が、今春の賃上げ交渉に悪影響を及ぼしており、所定内給与の伸びも鈍化する見通し。

◆ 深刻な雇用調整が生じる懸念も

さらに、新型コロナの影響が長期化すれば、大規模な雇用調整が生じる可能性も。雇用調整関数を推計し、実質GDPの減少が雇用に与える影響を試算すると、需要の落ち込みが同程度であっても、落ち込む期間が3ヵ月から6ヵ月に伸びると、雇用への下押し圧力は2倍近くに拡大するとの結果に。失業率は、新型コロナの流行が5月中に収束に向かうと想定すれば、上昇は限定的にとどまるとみられるものの、影響が長期化すれば、リーマン・ショック時のように大幅な上昇を招く事態に。

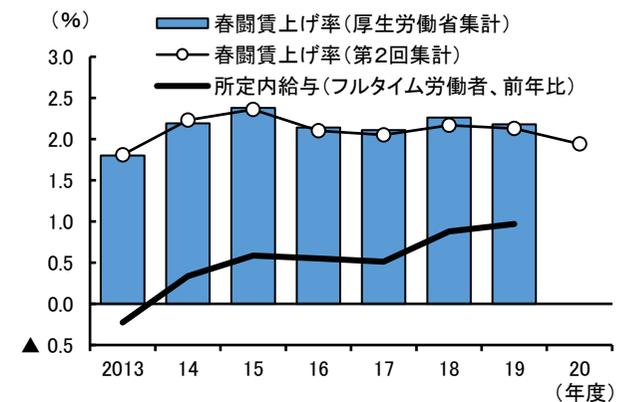
雇用者数(前年差)と現金給与総額(前年比)



(資料)総務省、厚生労働省を基に日本総研作成

(注)現金給与総額は、2018年1月、2019年1月に実施された調査対象企業の入れ替えによって生じたデータの断層を調整。

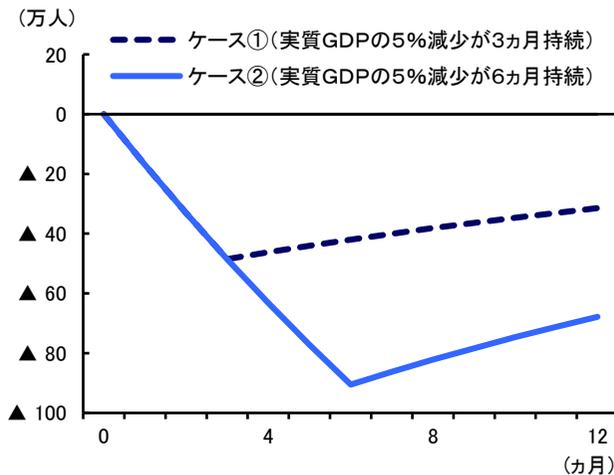
所定内給与と春闘賃上げ率



(資料)厚生労働省、日本労働組合連合会を基に日本総研作成

(注)所定内給与は、2018年、2019年のサンプル入れ替えにより生じた断層を修正。2019年度の所定内給与は、2019年4月～12月の実績。

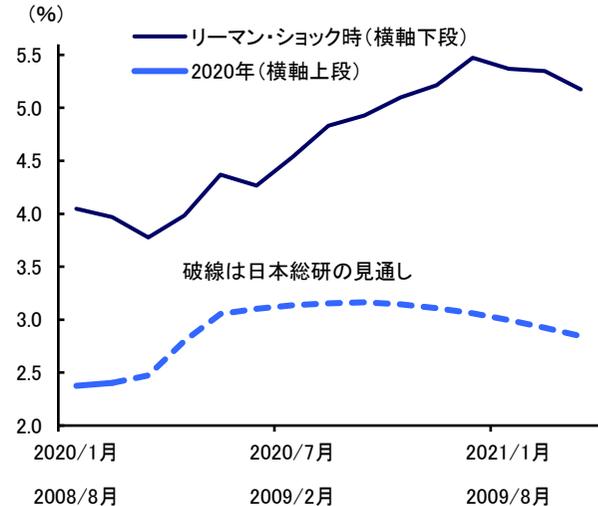
雇用者数のシミュレーション



(資料)総務省などを基に日本総研作成

(注)雇用者数を被説明変数、月次GDPと前月の雇用者数を説明変数とする雇用調整関数を推計し、推計された係数を基に試算。

失業率の見通し(季調値)



(資料)総務省などを基に日本総研作成

新型コロナの影響で個人消費は下振れ

◆新型コロナの流行が消費の重石に

2月の小売売上高は、前月比+0.6%と4ヵ月連続で増加し、消費増税前の水準をほぼ回復。もっとも、2月の売上の増加は、新型コロナの流行を受けた一時的な上振れという側面も。業態別にみると、外出の自粛を背景に、衛生用品や日用品を買いだめする動きが広がったことで、ドラッグストアの売上が大幅に増加。一方、サービス消費でも、持ち帰りや宅配需要の増加を受け、ファーストフードなどの外食サービスが上振れ。

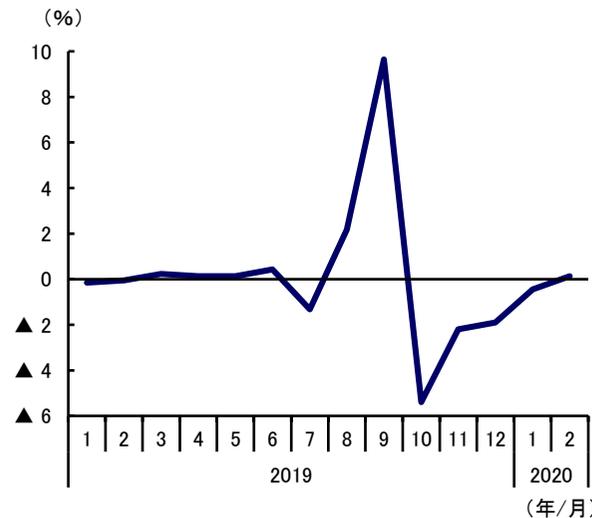
3月に入ると、国内で新型コロナの感染が拡大するなか、幅広い業態で休業や時短営業が本格化。首都圏を中心に外出を自粛する動きも強まっており、個人消費は大幅な下振れが避けられない状況。

◆住宅投資は弱い動き

2月の住宅着工は、前月比+7.2%と2ヵ月ぶりの増加。駆け込み需要が限定的であったなか、消費増税後の反動減が一巡し、持家と分譲住宅が下げ止まり。一方、貸家は、金融機関のアパートローン審査の厳格化により減少基調が持続。

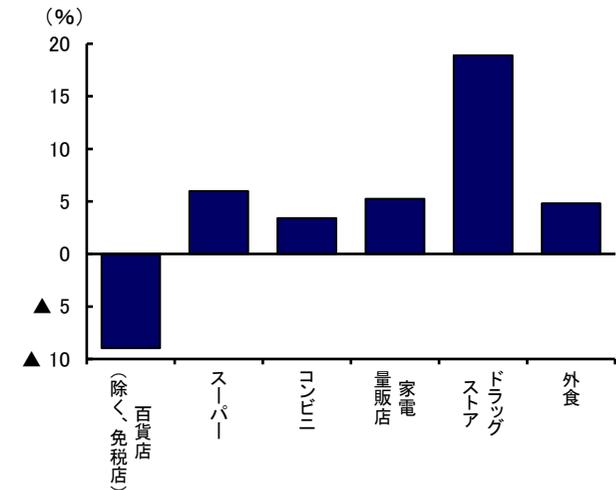
先行きは、新型コロナの影響で工期の遅延や住宅展示場のイベント自粛が発生しており、住宅投資は下振れる見込み。

小売売上高(2018年比)



(資料)経済産業省を基に日本総研作成

2020年2月の業態別販売統計(前年比)



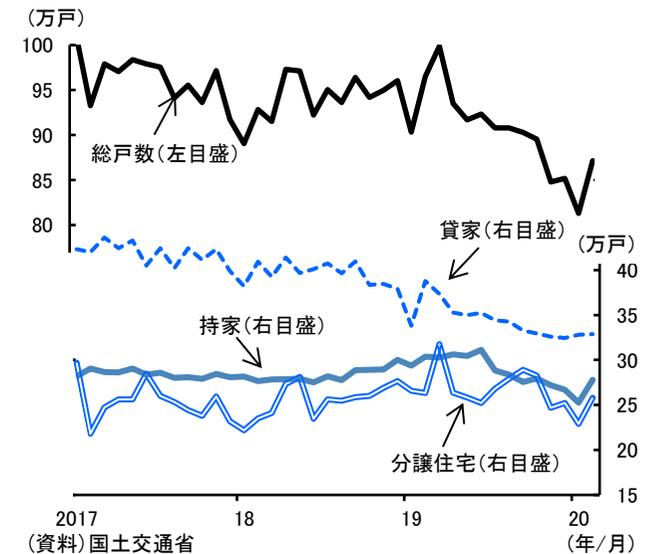
(資料)経済産業省、日本フードサービス協会、日本百貨店協会を基に日本総研作成

各企業の対応例

三越伊勢丹 (百貨店)	3月入り後、首都圏6店舗で営業時間短縮。4月前半は土日休業。
高島屋 (百貨店)	2月末以降、国内10店舗で営業時間短縮。3月28~29日、4月4~5日に臨時休業。
ライフ (スーパー)	3月中、全店で営業時間短縮。現在も、一部店舗で実施。
イトーヨーカ堂 (スーパー)	3月入り後、39店舗で営業時間短縮。現在も38店舗で継続。
イオンモール (スーパー)	3月28~29日:15施設、4月4~5日:25施設の専門店部分で臨時休業。
ユニクロ (衣料品小売)	3月28~29日に39店舗で臨時休業。
ロイヤルホスト (外食)	3月28~29日に15店舗で臨時休業、93店舗で営業時間短縮。
スターバックス (外食)	3月28~29日に首都圏店舗で休業。3月30日以降も営業時間短縮。
東京ディズニーランド (レジャー)	2月末以降休業。再開は4月20日以降。
USJ (レジャー)	2月末以降休業。4月12日までを予定。

(資料)各社IR資料、各種報道を基に日本総研作成

住宅着工戸数(季調値・年率)



(資料)国土交通省

トピック：東京五輪延期の影響

◆延期による影響は限定的

新型コロナの世界的な感染拡大を受け、東京五輪の延期が決定。東京都の試算によると、五輪の経済効果（直接的効果）は5.2兆円に上り、延期による経済への影響を懸念する声も。

もっとも、需要増加額のうち、大部分は既に発現済み。例えば、需要増加額の大きい施設整備費をみると、新国立競技場など恒久施設は既に完成。延期決定により先延ばしとなる建設需要は、仮設施設整備費など一部に限られる見通し。その他の大会運営費についても、マーケティングや情報システムにかかる費用など大半は既に支出されている模様。

このため、延期によって先延ばしされる需要は、観戦者のチケット購入、インバウンド消費、大会運営費など約6,100億円にとどまると試算。この需要額の大半は、延期される2021年7～9月期に生じることが期待。

◆規模縮小や中止となると影響は甚大

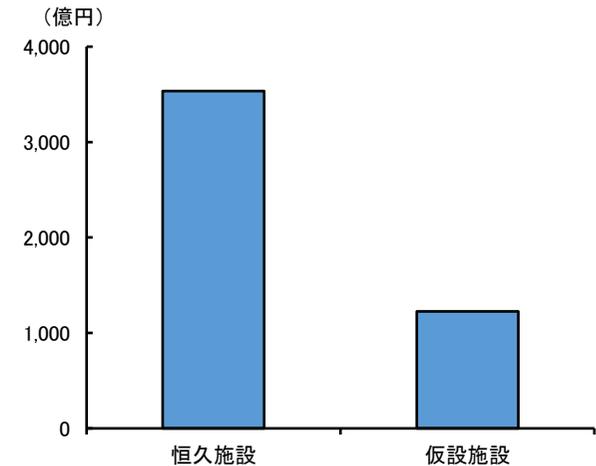
もっとも、来年の開催期に新型コロナが終息していなければ、規模縮小や中止になる可能性も。この場合、大会開催時に発生する関連需要は減少、喪失することに。さらに、中止の場合、大会後に期待される約11.3兆円のレガシー効果も、既に建設された新規恒久施設や選手村の後利用などを除き、大部分が失われる事態に。

東京五輪に伴う直接的効果

	需要増加額 (億円)	生産誘発額 (億円)	付加価値誘発額 (億円)
施設整備費	4,761	20,313	9,365
その他 大会運営費	9,339	20,554	9,778
参加者・観戦者の 消費支出	2,079	4,237	2,157
関連グッズの 売上など	2,910	5,616	2,795
その他	701	1,442	729
合計	19,790	52,162	24,824

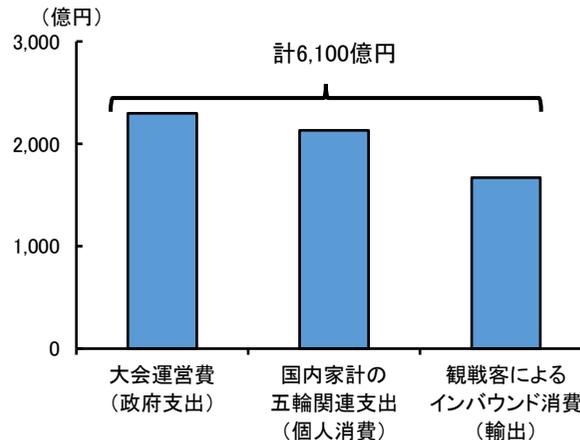
(資料)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、東京都オリンピック・パラリンピック準備局を基に日本総研作成

東京五輪の施設整備費



(資料)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、各種報道を基に日本総研作成

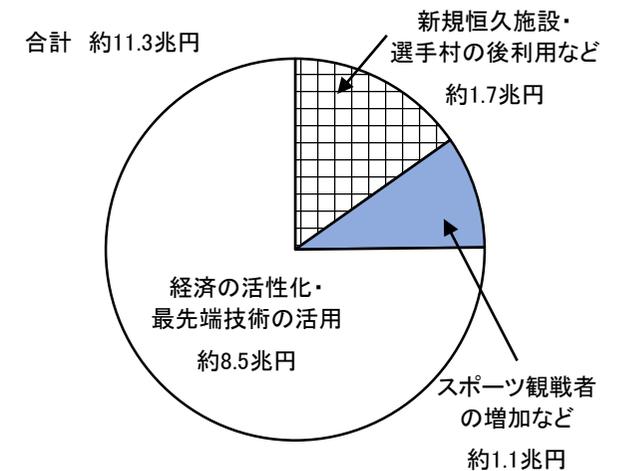
延期に伴い先延ばしされる需要(試算)



(資料)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、Oxford Economicsなどを基に日本総研作成

(注) ()内はGDPへの寄与項目。

五輪開催後の経済効果



(資料)東京都オリンピック・パラリンピック準備局

新型コロナの影響拡大で、景気は後退局面に

◆2020年前半はマイナス成長

新型コロナの世界的な感染拡大を受け、景気は大幅に下振れ。1～3月期、4～6月期は、ともにマイナス成長が避けられない状況。インバウンド需要の急減と世界経済の下振れにより輸出が大幅に減少するほか、個人消費も、外出の自粛が重石となり、減少傾向が持続。企業部門でも、設備投資に対する慎重姿勢が広がる見通し。

◆経済活動の正常化は早くても年央頃

景気が回復に転じる時期は、新型コロナの流行状況に左右。今回の見通しでは、政府の感染拡大対策が効果を発揮し、5月中に流行が収束に向かうと想定。国内での感染拡大が落ち着けば、外出の自粛により下振れていた個人消費が持ち直すことで、景気は再び回復軌道に復帰する見通し。

もっとも、新型コロナの流行が早期に収束すると想定しても、インバウンド需要や貿易活動が元の水準に戻るには、時間を要する見込み。個人消費も、雇用所得環境の悪化が重石となり総じて緩やかな回復ペースにとどまるため、V字型の力強い景気回復は期待薄。結果として、2020年度の成長率は▲1.4%と、大幅なマイナス成長に。

わが国主要経済指標の予測値(2020年4月3日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2020年					2021年					2022年		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2019年度	2020年度	2021年度
	(実績)	(予測)									(予測)		
実質GDP	▲7.1	▲2.9	▲7.5	7.1	4.4	2.6	1.3	2.3	▲0.2	1.0	▲0.1	▲1.4	2.2
個人消費	▲10.6	▲5.0	▲6.3	10.5	3.8	2.3	1.2	1.7	0.3	0.9	▲0.7	▲1.4	2.2
住宅投資	▲9.7	▲4.9	▲6.9	▲3.4	0.2	1.4	1.8	1.1	0.6	0.4	1.1	▲4.2	0.8
設備投資	▲17.3	0.8	▲8.1	4.2	4.8	3.9	3.2	2.9	2.4	2.4	▲0.7	▲2.5	3.3
在庫投資 (寄与度)	(0.0)	(▲0.2)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲0.1)	(▲0.1)	(0.0)
政府消費	0.9	0.2	2.1	0.6	0.6	0.6	0.5	3.4	▲2.4	0.5	2.5	1.1	0.7
公共投資	2.8	▲0.3	2.3	2.1	5.9	▲1.0	▲2.5	▲0.4	0.6	0.8	3.6	2.2	0.0
純輸出 (寄与度)	(1.9)	(▲0.0)	(▲3.2)	(0.7)	(1.2)	(0.7)	(0.2)	(0.3)	(▲0.2)	(0.0)	(▲0.2)	(▲0.4)	(0.4)
輸出	▲0.3	▲10.3	▲15.5	9.0	11.2	7.1	3.3	4.2	▲0.2	2.0	▲2.0	▲3.0	4.9
輸入	▲10.2	▲10.5	3.4	5.2	4.3	3.1	2.4	2.8	1.2	2.0	▲1.2	▲0.7	2.8

(前年同期比、%)

名目GDP	0.5	▲1.1	▲1.9	▲1.7	0.6	1.8	2.4	2.4	1.5	1.4	0.7	▲0.3	1.9
GDPデフレーター	1.2	1.0	2.5	1.1	0.5	0.3	▲1.3	▲0.3	0.0	0.3	0.8	1.1	▲0.3
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	0.6	0.1	0.2	▲0.4	▲0.2	0.4	0.4	0.8	0.7	0.6	▲0.1	0.6
(除く生鮮、消費税、教育無償化)	0.3	0.2	▲0.2	▲0.1	▲0.3	▲0.1	0.4	0.4	0.8	0.7	0.4	▲0.2	0.6
鉱工業生産	▲6.4	▲5.0	▲9.4	▲3.6	1.9	1.9	7.2	2.5	0.8	0.2	▲3.7	▲2.3	2.6

完全失業率 (%)	2.3	2.4	3.0	3.2	3.1	2.9	2.7	2.6	2.5	2.4	2.3	3.0	2.6
経常収支 (兆円)	3.78	5.83	6.07	7.06	3.95	6.90	5.22	7.14	3.68	6.39	19.93	23.99	22.42
対名目GDP比 (%)	2.7	4.3	4.5	5.3	2.8	5.0	3.8	5.2	2.5	4.5	3.6	4.4	4.0
円ドル相場 (円/ドル)	109	109	107	108	108	107	108	108	108	108	109	108	108
原油輸入価格 (ドル/バレル)	66	66	40	52	58	61	62	63	63	63	68	53	63

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを
基に日本総研作成

海外経済の前提

(前年比、%)

	2019年	2020年	2021年
	(実績)	(予測)	
米国	2.3	▲2.0	2.9
ユーロ圏	1.2	▲2.6	3.0
中国	6.1	▲0.3	9.5

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2019年度	2020年度	2021年度
	(予測)		
1月号	0.9	1.0	0.8
2月号	0.9	1.0	0.8
3月号	▲0.0	▲0.2	1.1

物価上昇ペースは鈍化、長期金利はプラス圏まで上昇

◆当面は物価の伸びは鈍化

2月のコアCPI上昇率は、前月から縮小。原油価格の下落を受け、エネルギー価格のマイナス寄与が拡大したほか、訪日外国人の減少や外出の自粛に伴う需要減少から、宿泊料なども押し下げに寄与。

先行きは、新型コロナの流行拡大による景気後退を背景に、需給面からの上昇圧力が弱まるほか、エネルギー価格のマイナス幅が更に拡大することから、前年比+0%近傍（消費増税や教育無償化の影響を除くベース）まで上昇ペースが鈍化する見通し。

◆金融緩和策の強化を決定

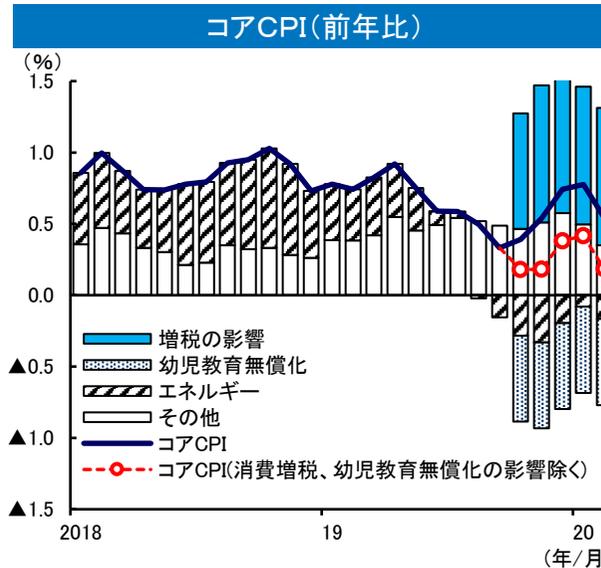
日銀は3月の金融政策会合を前倒しし、企業金融支援のための措置や、ETF・J-REIT買入れの増額などを決定。

先行きを展望すると、短期金利政策（現行▲0.1%）など、当面は現行の金融政策を維持し、今回の金融政策の効果を見極める見通し。

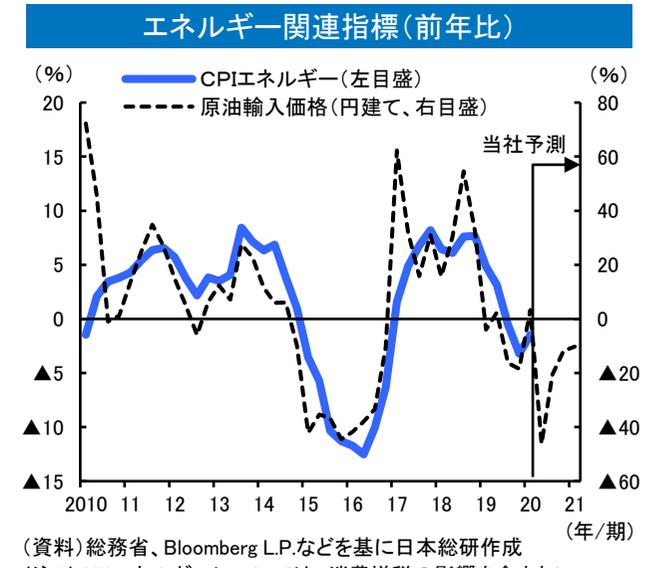
◆長期金利はプラス圏に浮上

3月の長期金利は、現金需要の高まりなどから、国債が売り優勢となったことを受け、下旬に0.08%と約1年4ヵ月ぶりの高水準まで上昇。その後は、景気悪化懸念を受け、0%近くまで再び低下。

先行きは、新型コロナへの懸念が重石になるほか、主要中央銀行の金融緩和姿勢の維持とそれを受けた各国長期金利の低位安定を背景に、当面は現行の水準での推移が続く見通し。



(資料)総務省を基に日本総研作成

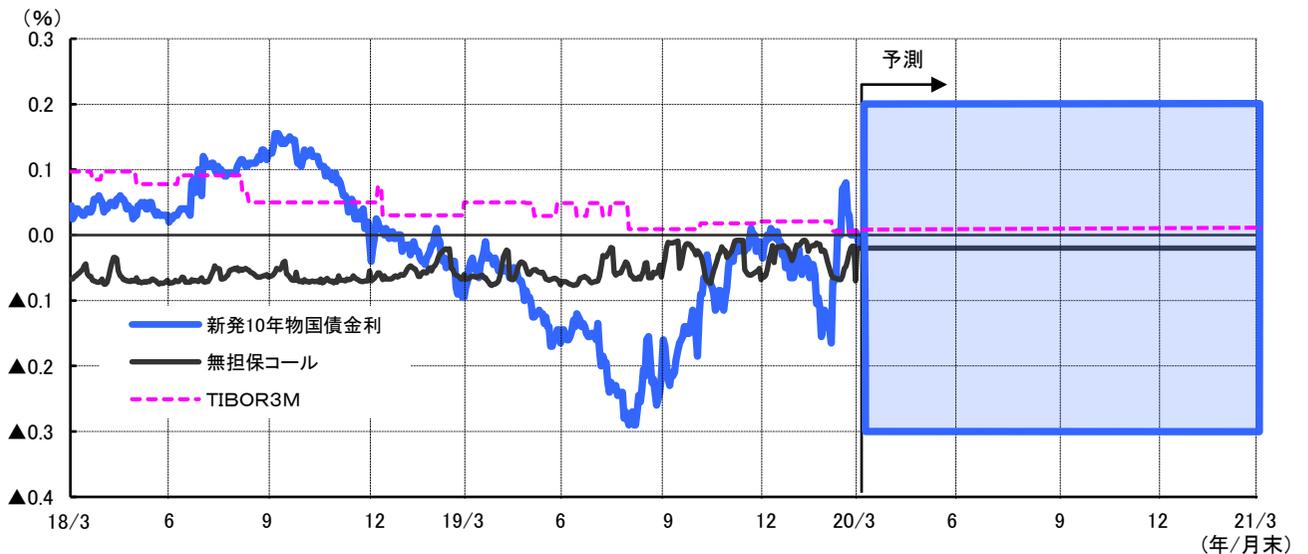


(資料)総務省、Bloomberg L.P.などを基に日本総研作成

(注1)CPIエネルギーについては、消費増税の影響を含まない。

(注2)2020年1~3月期は、1、2月値。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	▲ 0.04
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.09	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43
17/11	▲ 0.05	0.06	0.09	0.03	0.10	0.25	▲ 0.18	0.04	1.48	1.00	112.82	132.48	22525.15	1783.26	1.16	1.43	2.35	23557.93	▲ 0.33	0.36
17/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	112.93	133.68	22769.89	1809.61	1.30	1.60	2.41	24545.38	▲ 0.33	0.35
18/1	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.29	▲ 0.13	0.08	1.48	1.00	110.97	135.28	23712.21	1882.57	1.41	1.73	2.57	25804.02	▲ 0.33	0.55
18/2	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.29	▲ 0.15	0.07	1.48	1.00	107.86	133.14	21991.68	1766.57	1.42	1.87	2.86	24981.55	▲ 0.33	0.72
18/3	▲ 0.06	0.07	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	106.10	130.87	21395.51	1716.27	1.51	2.17	2.84	24582.17	▲ 0.33	0.59
18/4	▲ 0.06	0.09	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.14	0.05	1.48	1.00	107.62	132.08	21868.79	1737.42	1.69	2.35	2.87	24304.21	▲ 0.33	0.55
18/5	▲ 0.06	0.10	0.13	0.05	0.11	0.27	▲ 0.13	0.05	1.48	1.00	109.71	129.59	22590.05	1783.96	1.70	2.34	2.98	24572.53	▲ 0.33	0.52
18/6	▲ 0.07	0.08	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.13	0.04	1.48	1.00	110.13	128.55	22562.88	1762.48	1.82	2.33	2.91	24790.11	▲ 0.32	0.40
18/7	▲ 0.07	0.09	0.11	0.04	0.10	0.27	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	111.47	130.27	22309.06	1729.12	1.91	2.34	2.89	24978.23	▲ 0.32	0.36
18/8	▲ 0.06	0.09	0.11	0.05	0.13	0.33	▲ 0.11	0.11	1.48	1.00	111.03	128.22	22494.14	1721.03	1.91	2.32	2.89	25629.99	▲ 0.32	0.36
18/9	▲ 0.06	0.06	0.11	0.06	0.14	0.34	▲ 0.11	0.12	1.48	1.00	112.05	130.62	23159.29	1746.41	1.95	2.35	2.99	26232.67	▲ 0.32	0.44
18/10	▲ 0.06	0.05	0.11	0.06	0.14	0.35	▲ 0.12	0.14	1.48	1.00	112.79	129.49	22690.78	1703.85	2.19	2.46	3.16	25609.34	▲ 0.32	0.46
18/11	▲ 0.07	0.05	0.10	0.04	0.10	0.29	▲ 0.14	0.11	1.48	1.00	113.37	128.80	21967.87	1646.77	2.20	2.65	3.11	25258.68	▲ 0.32	0.38
18/12	▲ 0.07	0.05	0.09	0.01	0.04	0.20	▲ 0.14	0.04	1.48	1.00	112.17	127.60	21032.42	1565.86	2.27	2.79	2.83	23805.55	▲ 0.31	0.25
19/1	▲ 0.06	0.04	0.10	▲ 0.00	0.01	0.17	▲ 0.16	0.01	1.48	1.00	108.99	124.47	20460.51	1541.56	2.40	2.77	2.71	24157.80	▲ 0.31	0.22
19/2	▲ 0.06	0.03	0.09	▲ 0.02	▲ 0.01	0.15	▲ 0.17	▲ 0.02	1.48	1.00	110.46	125.32	21123.64	1592.61	2.40	2.68	2.67	25605.53	▲ 0.31	0.13
19/3	▲ 0.05	0.03	0.09	▲ 0.03	▲ 0.02	0.13	▲ 0.16	▲ 0.04	1.48	1.00	111.13	125.58	21414.88	1602.83	2.41	2.61	2.57	25722.62	▲ 0.31	0.06
19/4	▲ 0.07	0.05	0.10	▲ 0.02	▲ 0.01	0.13	▲ 0.15	▲ 0.04	1.48	1.00	111.69	125.46	21964.86	1618.12	2.42	2.59	2.53	26401.58	▲ 0.31	0.01
19/5	▲ 0.05	0.05	0.10	▲ 0.03	▲ 0.02	0.12	▲ 0.16	▲ 0.06	1.48	1.00	109.98	122.99	21218.38	1547.17	2.39	2.53	2.39	25744.79	▲ 0.31	▲ 0.08
19/6	▲ 0.06	0.04	0.10	▲ 0.08	▲ 0.09	0.04	▲ 0.21	▲ 0.13	1.48	1.00	108.07	122.06	21060.21	1540.08	2.38	2.40	2.07	26160.10	▲ 0.33	▲ 0.27
19/7	▲ 0.07	0.04	0.11	▲ 0.09	▲ 0.10	0.03	▲ 0.20	▲ 0.14	1.48	0.96	108.25	121.38	21593.68	1573.16	2.40	2.29	2.05	27089.19	▲ 0.37	▲ 0.34
19/8	▲ 0.05	0.04	0.09	▲ 0.13	▲ 0.15	▲ 0.06	▲ 0.27	▲ 0.22	1.48	0.95	106.23	118.16	20629.68	1501.08	2.13	2.16	1.62	26058.23	▲ 0.41	▲ 0.63
19/9	▲ 0.06	0.01	0.06	▲ 0.13	▲ 0.15	▲ 0.04	▲ 0.29	▲ 0.22	1.48	0.95	107.51	118.34	21585.46	1579.13	2.04	2.13	1.69	26900.21	▲ 0.42	▲ 0.57
19/10	▲ 0.03	0.01	0.05	▲ 0.13	▲ 0.13	0.00	▲ 0.27	▲ 0.16	1.48	0.95	108.16	119.61	22197.47	1617.12	1.83	1.98	1.70	26736.80	▲ 0.41	▲ 0.45
19/11	▲ 0.05	0.02	0.05	▲ 0.06	▲ 0.05	0.06	▲ 0.20	▲ 0.09	1.48	0.95	108.91	120.32	23278.09	1697.37	1.55	1.90	1.82	27797.05	▲ 0.40	▲ 0.33
19/12	▲ 0.04	0.02	0.05	▲ 0.01	0.01	0.11	▲ 0.12	▲ 0.01	1.48	0.95	109.11	121.26	23660.38	1724.59	1.55	1.91	1.86	28167.01	▲ 0.40	▲ 0.27
20/1	▲ 0.03	0.02	0.09	▲ 0.00	0.00	0.09	▲ 0.13	▲ 0.01	1.48	0.95	109.28	121.35	23642.92	1719.06	1.55	1.82	1.76	28879.99	▲ 0.39	▲ 0.27
20/2	▲ 0.02	0.02	0.09	▲ 0.06	▲ 0.07	0.01	▲ 0.16	▲ 0.06	1.48	0.95	110.03	120.00	23180.37	1669.97	1.51	1.68	1.51	28519.73	▲ 0.41	▲ 0.43
20/3	▲ 0.05	0.01	0.08	▲ 0.11	▲ 0.11	▲ 0.03	▲ 0.21	▲ 0.02	1.48	0.95	107.69	119.08	18974.00	1385.57	1.58	1.10	0.88	22637.42	▲ 0.42	▲ 0.52